

第2回 全員協議会会議録

令和4年5月19日(木)
委員会 議室

○会議日程

- 1 開会宣告(11時24分)
- 2 協議事項
 - (1) 地域生活維持に係る支援策について
(幌延町農業協同組合問寒別給油所存続に係る整備費支援)
- 3 その他
- 4 閉会宣告(12時05分)

○出席議員(7名)

議長	8番	高橋	秀之
副議長	7番	西澤	裕之
議員	1番	高橋	秀明
議員	2番	佐藤	忠志
議員	3番	斎賀	弘孝
議員	4番	植村	敦隆
議員	5番	無量谷	隆

○出席説明員

町長	野々村	仁
副町長	岩川	実樹
企画政策課長	角山	隆一

○議会事務局出席者

事務局長	早坂	敦
主任	横山	薫

高橋議長

それでは第2回の全員協議会を開催いたします。

協議事項につきましては、地域生活圏の維持に係る支援策について、農協さんが作る問寒別給油所に関する支援ってどうか、そういうお話になると思いますんで、まず角山課長のほうから概要ってどうか、説明を。

角山企画政策課長

それでは、地域生活圏維持に係る支援策ということで、幌延町農業協同組合問寒別給油所存続に係る整備費の支援について、検討しておりますので、その内容についてご説明させていただきます。

説明資料は、お配りした1枚物、こちらをご覧くださいだと思います。

こちらの支援策を検討するに至った経緯、概要、支援の方針について、順に説明させていただきます。

まず本制度、整備支援をですね、検討するに当たりましては、幌延町農業協同組合さんから要請をいただいております。その要旨について記載しております。

問寒別給油所につきましては、タンク設置から53年が経過しておりまして、老朽化に伴って、燃料の漏えいの懸念が増大しているということで再整備を検討されております。

その中でも地域の人口減少、産業の縮小、次世代自動車の普及等によって、燃料需要の減少がありますので、再整備をした中でも、運営収支は厳しいと。

しかしながら、地域のライフライン確保の観点から、再整備ということで新設建て替えと聞いておりますけれども、その方針を固めて、あわせてですね、経費の圧縮を図るために、整備費用の支援ということで、昨年12月に、農協さんから幌延町のほうへ支援の要請をいただいております。

御存じの方もいるかもしれませんが問寒別給油所の現況等、新設の工事概要について2番に書いておりますけどこちらのほう、説明させていただきます。

建設は昭和44年ということで53年を経過しております。

また地下タンクについては、FRPの皮膜被覆処理補修を行ってからも17年たっているという状況で、現状でも、消防法等に基づく基準は満たしてはいますが、経年劣化により油漏れの危険性が高く、早期の改善が必要というような状況でございます。

その中で新設整備を検討する内容ということで、新設の予定地は、JA問寒別支所の横ということで、現在建物ございますけれども、こちらを取壊して整備するというお話を聞いております。

また設備の概要でございますが、サービス形態はフルサービスですが、支所の職員が兼任で給油対応するというようなことをお聞きしております。

取扱い油種はレギュラーと軽油、地下タンクの容量は20キロリットルということで、2仕切り2種の油を取扱うということで、完成の予定は令和4年10月ということで、計画のほうを出しているということでございます。

ちなみに工期については2か月から2か月半かかる見通しだということでございます。

こういったことも考慮して、今年ですね、雪が降る前に何とか整備したいというようなご要望をいただいております、町といたしましても、この要請を受けまして、詳細の情報ですね、設備の仕様ですとか工事費の提供を農協さんに依頼し、並行して内部協議を進めました。

その上で、問寒別地区唯一のJA問寒別給油所については、住民生活、産業、道路等インフラ維持の下支え、また災害時の燃料供給拠点としての公共性の高さがあるというような判断、認識のもとですね、地区の集落機能を維持する観点から、本件への支援を目的とした補助制度を設けることにいたしました。

支援の具体的な内容ですが、JAさんから、問寒別給油所の新設工事費、概算で伺っております。この費用に対して2分の1を限度とした、支援を、本件に対して設けるということで、概算工事費3,282万4千円の、2分の1ということで、1,641万2千円を6月の補正予算として計上しようという考えであります。支援の内容といたしましては、以上でございます。

高橋議長

どうもありがとうございました。

ここでちょっと暫時休憩をとりまして、今説明に対しての質疑があれば、質問していただければと思います。

(11時30分 休憩)

(12時00分 開議)

それではここで休憩を解いて会議を再開します。

今、支援策について説明を受けました。

それで議会としても、多分、問寒の人たちのことを考えると、議員さん方も、多分、これは駄目だよとか、反対だよっていう人は多分いないんじゃないかと思えます。

そこでこれは提案なんですけど、時間がちょっと、6月の補正に計上したいってことなんでちょっと時間がないんですけど、農協の組合さん方は、懇談会でそういう話、スタンドの話も聞いてて、そこからの要望も上がってると思うんですけど、そのほかの町民の人たちはそういう話は聞いてないんで、議会として、これは私の意見なんですけど、多分6月のに出しちゃったら6月の2日ぐらいまで、町民にそんなに全員聞けとかそういうんじゃなくて、親しくしゃべれるような人たちぐらいの範囲でもいいんですけど、こういうことで補助をしたいんですよって言って、なんていうのか町民の意見というか反応っていうか、そういうのをちょっと、知りたいなあ、というのはもしか出して町民、何だそんなもの出してって言われるのもまたこれ、あれなんで、いや全員聞きなさい、誰に、何人聞きなさいと言わないんで、そういうのを聞いていただけてそして2日までに事務局あたりに報告していただけないかなと私は思ってるんですけど、どうでしょうかね。

斎賀議員

町の補助だす項目が、なんか中小まちづくり計画とか何か半分だすやつそれ使うんでしょう。

(「いや、違う、完全に全然違うんですわ。」の声あり)

岩川副町長

別にこれ用の補助要項を作ります。

高橋議長

そんなに強制的に聞けと言わないんで、聞けるような人っていうかそういう雰囲気の人でもいいんで聞いて、どういう意見を持ってるかっていうのを、わかれば、事務局のほうに、こっただけ聞いたんだけど、反対はないよ。とか、こういう意見の人もいたよ。とかって、そのぐらいでいいんですけど。

お願いっていうか、議会としても聞いたほうがいいんじゃないかと思うんで、ぜひとも協力していただければと思うんですけど、どうですかいいですか。

(「はい」の声あり)

勝手に日にちを決めたんで6月の2日っていうと、ちょっと6月の3日に、三役会議があつてそんなときちょっと知りたいうのも、私の気持ちにあるんで。

2日まで、遅れれば遅れても6日の委員会がある時まででもいいんで、なるべくだったら2日の夕方まで、事務局のほうに連絡していただければと思いますんで、すいませんけどよろしくお願ひいたします。

全員協議会なんですけど、あと何かあれば。

一つ、全員協議会で言っておきます。

管内の研修会。4月の14日、管内の議長会があつて、8月19日浜頓でやります。決定です。

7月の6日は、なんかに載ったと思いますけど、全道の研修会もあります。

あと何でしたっけ、7月6日で8月19日が管内の浜頓で、これはやるって言って、中身的にはまだ、今までどおりやれないかもしれないんで、一応は、浜頓が担当でやるっていうことで、やります。

あとそのぐらいだね。

一応そういうことなんで、報告だけさせてもらいます。

よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

これで全員協議会を、あ、その他。

無量谷議員

すいません。

先ほど、幌延地区のね、灯油の流れたっていうか油も川に流失したっていうその結果、あんまり聞いてないんですけど、その辺のね、結果どうなった。

野々村町長

きれいになったから、騒いでないんです。

無量谷議員

原因ははっきりしたのか。

野々村町長

原因は特定したけど、コロナと同じようにそれは、はい。

西澤副議長

個人情報とかいろいろ個人情報が。

野々村町長

きれいに対処して、発見されたというか、そういうところは土壌、指導を受けて、土壌の改良も、特定で悪いけど、もう終わった郵便局と同じような対処をするところとか、そのまま、ただ直すだけでオーケーっていうところから、いろいろだと思う。

高橋議長

はい。無事落ち着いたということでございます。

そしたら、よろしいですか。

(「はい」の声あり)

そしたらこれで第2回全員協議会を終わらせていただきます。

どうもありがとうございました。

(12時05分 閉 会)

以上、相違ないことを証するため署名する。

議 長 高 橋 秀 之

主 任 横 山 薫